

評価表

業務名：令和6年度阿賀川自然再生計画検討業務

評価項目	評価の着目点		評価のウェート	S者	V者	Y者
	判断基準					
参加者名者の経験及び能力	資格要件 技術部門登録等	当該部門の建設コンサルタント登録あり、公益法人、独立行政法人、学校教育法に基づく大学又は同等と認められる機関。 ①建設コンサルタント登録あり、公益法人、独立行政法人、学校教育法に基づく大学又は同等と認められる機関。 ②③以外	5点 0点	① 5 建設コンサルタントの登録あり	① 5 建設コンサルタントの登録あり	① 5 建設コンサルタントの登録あり
専門技術力	成績の確実性 過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容	平成26年度以降公示日までに元請けとして完了した、公共事業を実施する国、都道府県、政令市発注業務実績又は海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された業務実績について、下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 ③ ①②以外は選定しない。 政令市による前に発注した業務は、政令市発注業務としての取り扱いはしない。	10点 6点 非選定	① 10 同種業務の実績がある。 R4年度 北陸地盤 河川事務所 新たな整備箇所検討・設計・植物調査等環境調査による重要種配慮事項を含めた自然再生計画検討業務。	① 10 同種業務の実績がある。 令和2年度 北陸地盤 河川事務所 自然再生事業費用対効果、事業計画立案、事業実施計画及びモニタリング計画立案を含めた自然再生計画検討業務。	① 10 同種業務の実績がある。 令和4、5年度 北陸地盤 河川事務所 自然再生事業箇所の整備内容検討、事前・事後・出水後のモニタリングを踏まえた再生整備事業を含めた自然再生計画検討業務。
成績・表彰	成績の確実性 過去4年間の業務成績	国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)の令和2年度～令和5年度に完了し、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務の平均点を下記の順位で評価する。 ①80点以上 →30 ⑦74点以上75点未満→18 ⑬68点以上69点未満→6 ②79点以上80点未満→28 ⑧73点以上74点未満→16 ⑭67点以上68点未満→4 ③78点以上79点未満→26 ⑨72点以上73点未満→14 ⑮65点以上67点未満→2 ④77点以上78点未満→24 ⑩71点以上72点未満→12 ⑯60点以上65点未満→0 ⑤76点以上77点未満→22 ⑪70点以上71点未満→10 ⑰60点未満 → 選定しない。 ⑥75点以上76点未満→20 ⑫69点以上70点未満→8 ⑱評点なし→0 なお、当該期間の国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)業務の業務成績を評価できない場合には加点しない。	30	② 28 79.1点 713件 R5年度 局長表彰	② 28 79.5点 827件 R5年度 局長表彰	② 28 79.4点 1487件 R6年度 局長表彰
優良表彰	過去2年間の優良業務表彰の有無	国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)の令和5年度～令和6年度(表彰年度)の土木関係建設コンサルタント業務の生産性向上技術活用表彰の実績について、下記の順位で評価する。 ①局長表彰または生産性向上技術活用表彰の実績あり ②事務所長表彰の実績あり なお、局長表彰と生産性向上技術活用表彰については、重複して加算しない。 表彰の認定の翌日から参加表明書の提出期限までに、北陸地方整備局長から文書注意以上の措置を受けた場合は、優良業務表彰の加点をしない。	5点 3点	① 5 局長表彰または生産性向上技術活用表彰の実績あり R5年度 局長表彰	① 5 局長表彰または生産性向上技術活用表彰の実績あり R5年度 局長表彰	① 5 局長表彰または生産性向上技術活用表彰の実績あり R6年度 局長表彰
予定管理技術者の経験及び能力	資格要件 技術者資格等	下記の順位で評価する。 ①技術士(総合技術監理部門一建設または建設部門) ②国土交通省登録技術者資格(建設分野:河川・ダム・業務・計画・調査・設計) ③RCCM(国土交通省登録技術者資格に登録された部門を除く)の資格を有し、「登録証書」交付を受けている者 ・土木学会認定土木技術者(国土交通省登録技術者資格に登録された部門を除く)(特別上級、上級、1級) ④①～③以外は選定しない。	5点 3点 1点 非選定	① 5 技術士(建設部門)	① 5 技術士(建設部門)	① 5 技術士(総合技術監理部門一建設、建設部門)
専門技術力	業務執行技術力 過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容	平成26年度以降公示日までに完了した、公共事業を実施する国、都道府県、政令市発注業務実績又は海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された業務実績について、下記の順位で評価する。ただし、管理技術者又は担当技術者として担当した業務とする。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 ③ ①②以外は選定しない。 政令市による前に発注した業務は、政令市発注業務としての取り扱いはしない。	5点 3点 非選定	① 5 同種業務の実績がある。 R4年度 北陸地盤 河川事務所 新たな整備箇所検討・設計・植物調査等環境調査による重要種配慮事項を含めた自然再生計画検討業務。	① 5 同種業務の実績がある。 令和2年度 北陸地盤 河川事務所 自然再生事業の効果、河道変化や河道環境変化を分析、自然再生整備の進め方を踏まえた自然再生計画検討業務。	① 5 同種業務の実績がある。 令和4、5年度 北陸地盤 河川事務所 自然再生事業箇所の整備内容検討、事前・事後・出水後のモニタリングを踏まえた再生整備事業を含めた自然再生計画検討業務。
情報収集力	地域精通度 過去10年間の当該事務所、周辺での受注実績の有無	平成26年度以降公示日までに完了した業務実績について、下記の順位で評価する。ただし、管理技術者又は担当技術者として担当した業務とする。 ①阿賀川河川事務所における業務実績あり。 ②北陸地方整備局管内公共事業を実施する国、県、政令市の業務実績あり。 ③上記に該当しない場合は加点しない。 政令市による前に発注した業務は、政令市発注業務としての取り扱いはしない。	5点 3点 0点	② 3 R4年度 北陸地盤 河川事務所 管理技術者	① 5 R2年度 阿賀川河川事務所 担当技術者	② 3 R2年度 北陸地盤 河川事務所 担当技術者
専門技術力	業務執行技術力 過去4年に間に担当した国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)の令和2年度～令和5年度に完了したLTECRISに登録されている業務のうち、業種区分が土木関係建設コンサルタント業務、測量及び地質調査業務の技術者成績評定の平均点を下記の順位で評価する。ただし、管理技術者又は担当技術者として担当した業務とする。	①80点以上 →30 ⑦74点以上75点未満→18 ⑬68点以上69点未満→6 ②79点以上80点未満→28 ⑧73点以上74点未満→16 ⑭67点以上68点未満→4 ③78点以上79点未満→26 ⑨72点以上73点未満→14 ⑮65点以上67点未満→2 ④77点以上78点未満→24 ⑩71点以上72点未満→12 ⑯60点以上65点未満→0 ⑤76点以上77点未満→22 ⑪70点以上71点未満→10 ⑰60点未満 → 選定しない。 ⑥75点以上76点未満→20 ⑫69点以上70点未満→8 ⑱評点なし→0 なお、当該期間の国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)業務の技術者成績を評価できない場合には加点しない。	30	② 28 79.1点 31件 R4年度 北陸地盤 河川事務所 管理技術者	② 28 79.3点 29件 R4年度 北陸地盤 河川事務所 担当技術者	② 28 79.8点 24件 R4年度 北陸地盤 河川事務所 担当技術者
優良	過去4年間の技術者表彰の有無	国土交通省及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注(港湾空港関係事務にすることを除く)の令和3年度～令和6年度(表彰年度)の土木関係建設コンサルタント業務の優良技術者表彰の実績について、下記の順位で評価する。 ①局長表彰の実績あり(海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度認定表彰の国土交通大臣賞も同様) ②事務所長表彰の実績あり(海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度認定表彰の国土交通大臣賞も同様) なお、優良技術者表彰と海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度認定表彰については、重複して加算しない。	5点 3点	① 5 令和4年度 局長表彰	② 3 令和6年度 事務所長表彰	① 5 令和6年度 局長表彰
責任性	責任性 手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	下記の項目に該当する場合は選定しない。 ・手持ち業務の契約金額が5億円以上、又は手持ち業務の件数が10件以上。 (手持ち業務とは、管理技術者又は担当技術者となっている500万円以上の他の業務を指す。)	—	6件 14,473万円	6件 17,885万円	3件 7,196万円
業務実施体制	業務実施体制の妥当性	下記項目に該当する場合は選定しない。 ・主たる部分が再委託予定。 ・業務の分担構成が不明確又は不自然。 ・設計共同体による場合に、業務の分担構成が細分化されすぎている場合、一つの分担業務を複数の構成員が実施することとしている場合。	—	現地調査の作業補助 (現地での技術的判断を伴わないもの)	現地作業の一一部 (技術的判断を伴わないもの)	生物調査の補助
合計			100	94	94	94
選定				○	○	○
順位				1	1	1

[1]同種業務：自然再生計画検討(河川関係)

[2]類似業務：河川環境調査業務